



故郷で自主トレーニング 広島カープ 松山選手ら3人

1月7日（月）、本町飯隈集落出身の広島東洋カープ松山竜平選手が、町のふれあいの里公園を拠点に自主トレーニングを始めました。

自主トレーニングには、同球団の後輩である中村憲選手、申成鉉（しん・そんひょん）選手も参加し、合同でランニングやキャッチボールに取り組みました。

同月12日（土）には、あすばる大崎において激励会が行われました。

松山選手は、「のんびりした環境で練習ができて良かった。活躍して来年も故郷でスタートしたい。」と話しました。



▲写真左から申成鉉選手、松山竜平選手、東靖弘町長、中村憲選手、新留勝郎大崎ソフト名誉監督



野方をさるく！ 野方いきいき講座

野方地区をぶらぶらと歩き、ふるさとを再発見しようと1月25日（金）、『野方をさるく！』と題したまち歩きが行われました。

まち歩きに参加したのは、社会教育講座『野方いきいき講座』の講座生12名。

コースは、立小野郵便局前の六面地蔵からスタートし、照日神社、荒佐の六面地蔵など、約5時間かけたつぷりと野方を歩きました。

参加者からは、「町内に住みながらまだまだ知らないことがたくさんあり、大変勉強になった。」との感想が多くありました。



▲野方地区の史跡を廻り、説明を聞く参加者



自慢の農産物をPR！ 大崎町農業青年倶楽部

鹿児島県下の農業青年クラブ員が生産した農産物を販売する『鹿児島県農業青年クラブ産直市』が1月18日（金）から20日（日）の3日間、イオンモール鹿児島で開催されました。

産直市には、県下7地区から本町農業青年倶楽部員を含む45名が参加し、自慢の農産物を販売、PRしました。

同青年部の富吉秀成会長は、「多くの消費者に青年農業者が生産した農産物をPRすることができた。今後も、青年農業者のメッセージを伝える機会に積極的に参加したい。」と話しました。



▲農産物を販売、PRする町農業青年倶楽部員